

日時：平成30年5月29日（火）20：00～

場所：ふれあい歯科ごとう

出席者（敬称略）：五島、豊田、澤村、森尾、円谷、齊藤

口腔乾燥の客観的評価：唾液検査について、経済産業省「グレーゾーン解消制度」歯科医師法第17条に定める「歯科医業」に該当しないこと、疾病等の診断に使用されることを目的としない場合「医療機器（薬機法第2条第4項）」「体外診断用医薬品（薬機法第2条第14項）」に該当しない。使用する機器によっては薬局を通じで口腔内環境のチェックは「可能」となっている。が、採取した唾液の処理方法等は突っ込まれる可能性がある。

前回検討事項の振り返り：1 薬局20人くらいで。薬局のスタイル、立地によっても変わる。単一薬局での偏りをなくすように。アンケートをつくる。外来でやるアンケート、口腔乾燥と食事に関するアンケート。一人で歩いてきているため、ザックリ調べてみて、在宅と比較しても良いだろう。ベースライン作りとして「口腔乾燥に関する項目」「食事形態」「BMI」「栄養量」くらいにしぼる。多くの情報よりも傾向を知るということ、栄養の調査自体はされているがそれと薬剤を絡める。食事、栄養の傾向から後から紐づけで薬剤は調べられる。身長、体重、口の渇き、食欲などちょっと待ちいただいている間にできるアンケート。

資料：食品摂取の多様性評価票、食品摂取の多様性スコア Dietary Variety Score(DVS)
厚生省もこのデータを使用している、これと「薬剤」の相関を見る。

スペインで薬局のNMA調査、論文（地域差があり）薬剤は絡めていない。

小さな地域なので、地域差、人種差も混ぜて考えてみる。食形態はアンケートでは難しいか。口腔乾燥に関しての聞き方を考える。確実にやるとしたら膝高、体重計これも含めて協力していただける方、測定方法も含めて決めていく。大本のアンケート大筋を作成する。癌の場合の口腔乾燥は半端ではないため食事に本当に知りたいことは食に困っている。社会的な貢献としてはどちらが良いか、在宅、包括を巻き込んでみても良いか。できれば280例ほど欲しいが、

「新宿区内の薬局」に独歩できた65歳以上の高齢者（後から検討できる）

口腔乾燥に関する聞き方。

具体的なアンケートの仕方を

口が渇くだけでなく、いろんな表現があると思う。A41枚にまとめる。

形だけでも作る。聴取の文言を考える。なるほどねと思ってもらえる。

たたき台：口腔乾燥を空白としてサンプルを作成：

【次回は口腔乾燥に関する良い聞き方、各々考えておきましょう】

そこを埋めて次月～アンケートに乗り出したい（フォーラムに間に合うか？）

次回、この会「齊坊主ウイング（仮）」6月21日（木）20：00～